

## 児童発達支援センターにおける発達障害やその疑いのある未就学児への療育支援について

### 1. 令和5年度の報告

【並行通園 月2日クラス（つばさクラス）】

在籍園のある児童とその保護者に対し、専門的療育を提供。

「落ち着きがない」「自分の気持ちをうまく表現できない」「集団の中で友達とうまく遊べない」など、主に対人関係や社会性に課題を持つ児童を対象としている。

対象	堺市在住の療育が必要な3～5歳児の在籍園のある児童
実施場所	南こどもリハビリテーションセンター・北こどもリハビリテーションセンター
利用形態	半年間1クール。全8回。（月1～2日）親子登園
申込	保護者が申込（電話またはオンライン）
広報	ホームページ、チラシ、関係機関、発達相談からの案内等
利用決定	面談を通して作成する判定表をもとに、堺市利用調整会議にて選考、決定。 （医者の意見書は必須ではない。）
定員	両園合わせて54名

#### ① 令和5年度 前期つばさクラス 申込者数等実績

申込者数：80名 / 利用決定数：54名 / 待機者数：26名

#### ② 令和5年度 後期つばさクラス 申込者数等実績

申込者数：71名 / 利用決定数：54名 / 待機者数：10名

※並行通園の利用希望者のうち、つばさクラス相応の課題をもつ児童数を抽出。

➤ つばさクラスについては、前期、後期ともに待機児が発生している。

### 2. 令和6年度の予定

クラス体制の一部見直しにより発達障害やその疑いのある未就学児童の利用拡充を予定。

【見直し内容例】

- 並行通園 月2日クラス（つばさクラス）の定員数の増員：54名から72名へ。
- 低年齢児（2～3歳）の療育クラスの見直し、重度～中度知的障害児を対象としていたクラスを、軽度、発達障害やその疑いのある児童の受け入れも行う。また、定員の拡充を行う。  
○ペンギンクラス：週2日 / 定員数22名 → 週1日 / 定員数90名
- 児童発達支援センターにおける療育支援事業（あい・すてーしょん）の内容を見直し。  
「めだか親子教室」を見直し、相談内容に応じて柔軟に対応ができる個別相談、にこにこ広場の実施を予定。  
※障害児通所受給者証を持っていない方が相談対象。